

令和7年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. 7
ID 100601

【施設状況】

グループ名称	ふれあい福祉センター									
指定管理者名	社会福祉法人長野市社会福祉協議会						法人番号	9100005001693		
所管課	主	100600	福祉政策課	副						
構成施設	1368	ふれあい福祉センター								
施設分類	03	施設貸出2型		施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制	
施設概要	【施設】鉄骨鉄筋コンクリート造 地上6階・地下1階建 延床面積3,116㎡ ボランティアセンター、相談室、研修室(和室)、料理実習室、会議室、ホール、長野市社会福祉協議会事務局									
施設設置目的	住民参加、ボランティア参加、当事者参加等による自助、互助、公助の調和のとれた市民総参加による地域福祉社会づくりのため、市民の福祉活動推進の拠点施設、ボランティア活動の中核施設として設置する。									
基本方針等	施設の維持管理はもちろんのこと、市民の福祉活動推進の拠点及びボランティア活動の中核施設として、お年寄りや障害のある人まで幅広く市民が利用できる施設となることを目指す。									
主な実施事業	・施設貸出(一般利用) ・建物管理									

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名		社会福祉法人長野市社会福祉協議会				当該指定管理者の 指定回数		4回			
指定期間		令和3年4月1日		～	令和8年3月31日		5年	当該指定管理者の 管理運営開始日		平成18年4月1日	
指定 管理 者の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。										評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)										4

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年比	評価
	会議室	件	2,460	2,311	2,103	2,142	102%	4
	研修室	件	678	667	590	659	112%	
	料理実習室	件	214	283	253	266	105%	
	ホール	件	838	840	702	777	111%	
	(特記事項)							
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由			
	市指定事業	・センターの利用又は利用の許可に関する業務 ・センターの施設及び設備の維持管理に関する業務 ・センターの利用を増加させる自主事業に関する業務 ・センターの利用料金の収受に関する業務						
	自主事業	・ボランティアセンター事業 ・地域福祉活動に関する講座等の開催 ・市民活動に関する相談等						
サービス維持・向上の取組み (広報等)		・施設利用に関する問い合わせ等に対し、指定管理担当課全員が対応できる体制を整えている。 ・指定監理者ホームページにおいて、施設の休館情報の掲載や施設使用許可申請書の様式をダウンロードできるようにしている。 ・利用者の利便性向上のため、Wi-fi環境を整えている。 ・活用していないスペースをフリースペースとして活用することとし、施設の利用促進につながる取り組みをした。						

3 利用者評価

区分		内容		評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート		
	(2) 調査、会議等の内容 ・アンケート用紙及び回収箱を設置し、自由に記載、投函できる方式により実施した。			
	(3) 調査、会議等の結果 ・施設の利用に関する質問、施設やサービスの満足度を評価してもらうアンケート内容となっている。 ・14名からアンケートの回答があった。 ・施設及びサービスの満足度に関する設問において「満足・やや満足」と回答した者の割合は次のとおり（無回答を除く） 開館時間 90％ 職員の接遇態度90％ 使いやすさ72％ 予約期間55％ 予約方法50％ 清潔さ81％ 駐車場スペース20％			
利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価 ・夜間も開館している。 ・無料で会議室を利用できる。 ・来やすい。			3
	(2) 苦情・改善等の要望事項 【駐車場について】 ・駐車場のスペースが狭い。 ・駐車料金を無料にして欲しい。		【設備等について】 ・4階和室の照明が故障しているところがあるので、直して欲しい ・5階ステージが故障しているので、使えるようにして欲しい	
	《対応措置》 【駐車場について】 ・駐車場スペースについては、利用者会議等で第一駐車場だけでなく緑町立体駐車場等の他の駐車場があることも案内。 ・料金に関しては指定管理者では対応が不可能な事項。		【設備等について】 ・令和8年度に修繕予算が増額されたため、優先順位を考慮し、修繕を実施予定	

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和7年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和7年度決算		令和6年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
指定事業	利用料金	51,000	利用料金	96,860	歳入	使用料 雑(納付金)	76,907	使用料 雑(納付金)	76,931
	指定管理料	17,808,000	指定管理料	18,582,754		行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料	
	委託料	0	委託料	0		貸付料		貸付料	
	販売収入等	0	販売収入等	0		その他	869,107	その他	885,907
	その他収入		その他収入 R6年度補填	774,754		利益配分		利益配分	
						社会福祉施設整備費	6,700,000	社会福祉施設整備費	55,300,000
	収入計	17,859,000	収入計	19,454,368		計	7,646,014	計	56,262,838
	人件費	2,630,000	人件費	2,052,228	歳出	指定管理料	17,808,000	指定管理料	17,788,000
	設備管理費	13,815,000	設備管理費	15,080,735		委託料	233,200	委託料	2,554,113
	備品購入費	0	備品購入費	0		需用費	14,296,884	需用費	13,618,363
	修繕費	225,000	修繕費	271,216		役務費		役務費	
	光熱水費	0	光熱水費	0		使用料・賃借料	530,329	使用料・賃借料	548,241
	事業費	0	事業費	0		修繕費		修繕費	
	事務経費	541,000	事務経費	1,328,763		工事請負費	1,524,600	工事請負費	62,233,600
	本社経費	648,000	本社経費	648,000		備品購入費		備品購入費	
	その他	0	その他 利益配分			その他		その他	
						R6年度補填	774,754	R5年度補填	446,365
	支出計	17,859,000	支出計	19,380,942			計	35,167,767	計
	指定事業損益	0	指定事業損益	73,426					
	(利益配分を除く 指定事業損益)	0	(利益配分を除く 指定事業損益)	73,426					
自主事業	収入		収入						
	支出		支出						
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益	0		73,426	差引	-27,521,753		-40,925,844		
人件費比率【人件費(賃金等)／令和7年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									10.6%
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※ すべて ☒ で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	☒	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 施設管理従事者1人(1人) なお、管理業務について、他職員が支援する体制となっている。		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	☒	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	☒	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	☒	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	☒	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	☒	3

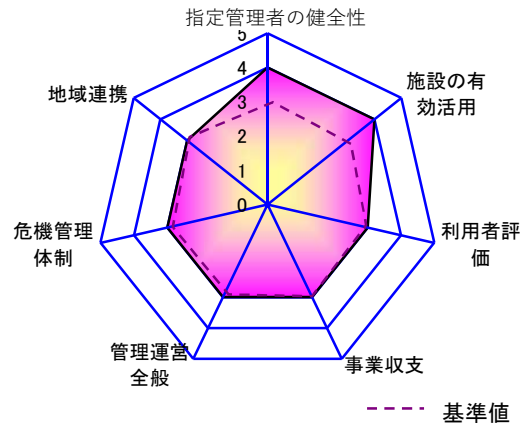
危機管理体制	区分	確認内容	チェック欄	評価
	安全対策	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☒	3
		2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
		3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☒	
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	☒	
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☒	
		2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	評価
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。	3
協定内容・指定管理者提案	
追加された内容、未実施の内容及びその理由	
・施設の修繕、業務委託、物品購入等における地元業者の活用 ・障害者の自立促進のため、地元福祉団体等への販売場所の提供等	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	4	8	合計得点
施設の有効活用	4	16	
利用者評価	3	6	66
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	12	
地域連携	3	6	



評価理由	施設の適切な維持管理や点検修繕を行うとともに、法人の財務状況も良好であるため、前年度に引き続き、「指定管理者の健全性」に関する評価を「4」とした。 自主事業のボランティアセンターで講座を開催したり、地域福祉の活動拠点としての機能を果たしており、利用者が施設を使いやすいように工夫をしている。前年度と比較して、利用件数が増加していることから、「施設の有効利用」に関する評価も「4」とした。		
取組み・改善案等（施設所管課）	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
	施設建設から30年を経過し、適切な維持管理を行っていく必要がある。	R7年度に以下の工事を実施した。 ①非常用発電設備ラジエーター等交換工事 ②外構修繕工事 ③スライディングウォール修繕工事	
次年度の目標・取組み等（施設所管課）	・施設建設から30年を経過し、一部施設の老朽化が見られる。施設の長寿命化のため、日々の点検等を通じて不具合箇所の早期発見に努め、計画的に修繕等を行う。		

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・長野市社会福祉協議会ホームページにおいて、センターの利用案内を掲載したり、利用申請書の様式をダウンロードできるようにするなどして利用者への情報提供や利用申請がスムーズにできるよう対策をとっている。
- ・センター利用申し込みに対して、長野市社会福祉協議会総務課の全職員が対応できる体制を整えている。
- ・センター利用者会議を開催したり利用者を対象としたアンケート調査を実施し、利用者のニーズの把握に努めた。
- ・センター前駐車場(市役所第1駐車場)の草取り、清掃作業を職員が行い、環境美化に努めた。
- ・積雪時には、駐車場及び周辺道路の雪かきを実施した。
- ・先述のとおり、活用していないスペースを、フリースペースとして活用するなどした結果、前年度と比較して利用者件数が増加した。

② 業務の効率化に対する取組み

- ・コスト削減の資するため、消耗品の圧縮(安価な店舗での購入)を実施している。
- ・使用していない部屋などの電気を消灯するなど、日頃から節電・節水に努め利用者に対しても張り紙をして節電・節水への協力を呼びかけている。

③ その他

- ・市民の福祉活動の拠点として、数多くの団体等に利用していただいた。
- ・長野市民のボランティア活動の拠点としての役割を果たすため、ボランティアセンターが中心となって様々な自主事業を実施している。
- ・館内設備に不具合があった際は、すぐに担当職員に連絡が入り迅速な対処をする体制ができている。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・施設が老朽化してきており、利用者の安全・安心を確保するため、今後も設備の保守及び修繕が必要であるが、限られた予算のなか優先順位を付け対応することが課題である。
- ・物価及び人件費が上昇傾向であるがコスト削減も重要であるため、修繕や物品購入等の場面において、優良な業者を選定しなければならないことが課題である。

(3) 総合評価

評価基準

- 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

- ・市民の福祉活動の拠点として、数多くの団体等に利用していただき、前年度と比較して利用件数が増加した。
- ・ボランティアセンターが中心となって行った講座なども多数の参加があり、好評をいただいた。
- ・施設管理の面では、予算の確保ができず、修繕を実施できなかった箇所があり、ご利用者へご不便をお掛けした面がある。

② 次年度以降の取組み

- ・市民の福祉の増進に資するため、今後も積極的にボランティアセンターの運営、相談事業及び地域福祉の推進等、事業を推進していく。
- ・建物の老朽化による修繕箇所増加しているが、日々の点検等により早期発見・修理を行うなど安全管理の徹底を図る。